

第8 駐在区 教育長 今村 了介



SDGs 未来都市
南阿蘇村

我が家のSDGs 「できることからコツコツと」

我が家におけるSDGsについて、できることからやっつけていこうという思いで少しずつではありますが、2つ目標を掲げ実行できる範囲で無駄なく推進しているところです。

まずは「SDGsは？」2015年、国連サミットで採択され、2030年までに持続可能な社会の実現のために17のゴールと169のターゲットを地球上の誰1人取り残さずに達成しようとするものでありますが、世界的な気候変動や資源の枯渇、生物多様性の喪失など、危機的状況に見舞われている今日、現代社会の問題を自らの課題として捉え、大それたことではなく、コツコツと積み重ねることをモットーに少しずつでも貢献しているのが現状です。我が家に限らず、このような取組が少しでも多くの方々には広がり、世界的なSDGs活動につながることを期待しているところです。

そのような中で、我が家で心掛けているのが大きく2つ。1つ目がCO₂削減、2つ目にフードロス対策についてです。

まず、1つ目については、以前は家庭でガス、灯油、電気を全部使用していましたが、5年前に太陽光によるオール電化とし、CO₂の削減に貢献させていただいております。併せて、不要不急の自家用車での外出も極力抑えるように心掛けています。オール電化にしていますが、なるべく家族同じ部屋で過ごす時間を多くする、こまめな消灯をするなどして、電気の無駄使いをなくしています。

次に2つ目のフードロス対策についてですが、世界では、飢餓に苦しむ人がいる一方で食品ロスが大きな社会問題となっています。自然と命のつながりに感謝し、もったいない精神のもと、買い物は1週間まとめ買いで済ませます（これは自家用車の利用減にもつながり、CO₂削減効果もあります）。7日間の献立は妻にお願いしていますが、私の仕事の関係で夜いかなかったりすることもありますので（お昼のお弁当も含めて）スケジュールを事前に伝えるなどして、必要な分だけ買うようにし、フードロスがないよう購入しています。私も一緒に行くこともありますが、エコバッグも必ず持って行くよう心掛けていますし、もしも余ったりした場合は、次回分に回す、冷凍するなどして、極力廃棄がないよう心掛けています。

その他にも水資源についてですが、飲料水等の使用量については、先月比を行い、先月を上回らないよう、また、上回った場合は何が原因だったのかも夫婦で顧みることにしています。

以上のように身近にできることから少しでも地球環境にやさしい取組を行っているところですが、健康でなければ（これもSDGs）、何事もできません。これからも健康に気を付け活動し、まだまだ、今後も暮らしの中でできることを実践し、今以上にSDGs活動に貢献できるよう頑張っています。



編集後記

我々広報委員は、「戦争終結、子ども達の幸せ、平和」を祈りながら、表紙の写真撮影してきた。しかし残念ながら、ウクライナ侵攻、ガザでの紛争はまだ終わりが見えない。ウクライナでは民間人数万人が殺害され、ガザの紛争は昨年10月に勃発以来、子どもの運命は一変。激しい戦火で2万6千人を超える子どもが死傷。町も病院も学校も破壊され、下痢と病気に苦しむ子どもの姿。見ると涙腺が…自分に出来ることは…毎日考え、ユニセフでの支援を微力ながら。3千円が5つの病気から子どもを守る予防接種用ワクチン25回分になる。「大切な命と子ども時代をこれ以上失わせるわけにはいきません。」

先日、子どもたちと食した心のこもったカレーが美味しかったこと。村内子ども食堂開所日の帰路、車の中で何故か目頭が…運営者に感謝。年を重ね涙腺が緩くなる。愛情カレーが宝物の為、汗をかく栄養源とワクチンとなりました。



河内 克也

議会広報特別委員会

委員長 市原 恵一
副委員長 坂田 正也
委員 河内 克也
〃 岡 智則
〃 辰巳 和美

発行責任者

議長 山室 昭憲

表紙の写真について 青の夕焼け空に黄色い落陽。ウクライナをイメージして、市下神社付近でシャッターを押しました。早い戦争終結を祈っております。

ウクライナ国旗